



『一年生を迎えて』



六年一組
丸山竜之助(右)
皆川篤史(左)

四月二十五日(水)は、「一年生を迎える会」がありました。野岸小学校の一年生を迎える会には、「ノギシックス」が登場します。ノギシックスは野岸小学校の生活を一年生に分かりやすく説明してくれるお助けマンの六人組です。レッドがリーダー、ブルーは遊びや運動、ホワイトは勉強、

野岸小学校

私たち野岸小学校六年生は、一年生とのふれあい、うさぎの「ポフ」とのふれあいを通して、優しくや命の大切さを考えながら、日々の生活を送っています。

ピンクは仲良しのことを説明してくれます。

そして、僕たちはノギグリーンとノギイエローをやりました。グリーンは清掃を、イエローは給食のことを説明します。一年生にも分かるように、笑顔と大きな声を心がけました。



ノギシックスが登場すると一年生も他の学年の人たちも盛り上がり、とても喜んでくれました。

一年生を迎える会の後も、「ノギイエローだ。」「ノギグリーンの人だ。」と、たくさん的一年生と仲良くなることができました。僕たちは、一年生が楽しく学校生活を始めることができるととても嬉しいです。



『クラスの員「ポフ」』



六年三組
霜田琉空(右)
塩川満里奈(左)

六年二組のウサギは、いつも鼻をヒクヒクさせています。そして、手をなめてくれます。でも、去年の十月十日(火)に私たちのクラスにやってきたころは、少しビクビクしていました。そんなウサギに、私たちは「ポフ」という名前をつけました。イン

ポートの「ポ」と、ライフの「フ」をとって、「大切な命」という意味です。

今はもうクラスに慣れてきて、休み時間はさわたりだっこしたりして、すごくいやさ

れています。いやなことがあっても、ポフをだっこすれば、温かい気持ちになります。お昼は、班ごと日替わりでいつもそうじをしています。トイレやすのこをきれいにしたりしています。私たちは、そうじさえも楽しいです。

大変なことや困ることはありません。でも、それがとてもいい勉強になっています。それだけではなく、みんなをいやしてくれるポフは、クラスの員であり、大切な命です。いつもありがとう！ポフ！

